

人口の推移

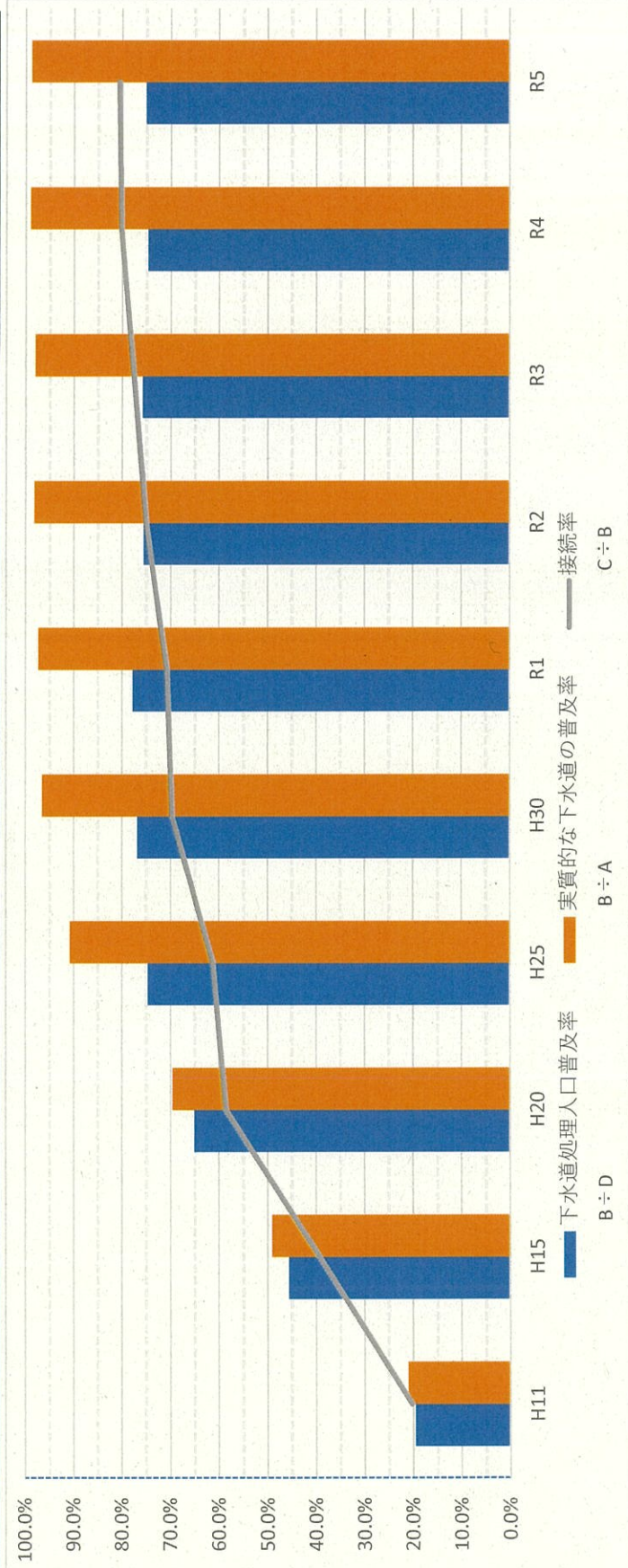
(単位：人)

	H11	H15	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5
(A) 計画区域内人口	9,407	9,463	9,391	8,062	7,526	7,459	7,085	7,015	6,791	6,781
(B) 下水道処理区域人口	1,980	4,650	6,540	7,324	7,269	7,262	6,957	6,875	6,722	6,696
(C) 接続人口	401	1,824	3,828	4,488	5,064	5,137	5,218	5,328	5,388	5,397
(D) 総人口	10,117	10,186	10,046	9,806	9,461	9,338	9,203	9,063	9,000	8,911

普及率等の推移

(単位：%)

	H11	H15	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5
下水道処理人口普及率 B ÷ D	19.6%	45.7%	65.1%	74.7%	76.8%	77.8%	75.6%	75.9%	74.7%	75.1%
実質的な下水道の普及率 B ÷ A	21.0%	49.1%	69.6%	90.8%	96.6%	97.4%	98.2%	98.0%	99.0%	98.7%
接続率 C ÷ B	20.3%	39.2%	58.5%	61.3%	69.7%	70.7%	75.0%	77.5%	80.2%	80.6%



(参考) 汚水処理人口普及率はR5末で86.1%

(下水道処理人口6,696人＋合併処理浄化槽処理人口980人) ÷ 総人口8,911人

9月10日は「下水道の日」

問合せ 上下水道課 ☎(81)3903

昭和36年、日本の下水道普及率は全国で6%と遅れており、下水道普及推進のため、全国下水道促進デーとして始まりました。近年の下水道に対する認識の高まりもあり、平成13年に、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更しました。

令和4年度末の全国の下水道普及率は81・0%、神奈川県全体では97・1%で、中井町は74・9%でした。

中井町は2割以上が浄化槽区域人口のため、実質的な普及率は99・0%になります。

下水道に接続しましょう

中井町の下水道接続率は、令和4年度末で80・2%になりました。しかし、神奈川県内ではほとんどの市町村が90%以上の接続率になっています。

下水道未接続家庭の多くは単独処理浄化槽を使用しており、下水道区域に400基以上残っています。単独処理浄化槽はトイレ以外の汚水は処理できず、台所や洗面所、風呂の水は河川に垂れ流しの状態です。また、ブローアの破損などの浄化槽の管理不備や、台所などからの浄化槽以外の排水が原因で周囲に悪臭を発生させることがあります。

下水道に接続すれば、保守点検、汚泥くみ取り、法定検査など、浄化槽管理の手間がなくなります。下水道区域内で単独処理浄化槽を使用している家庭においては、下水道へ接続していただくようお願いします。

下水道普及率(下水道を利用できる人の割合)

= 下水道利用可能人数 ÷ 総人口

下水道接続率

(下水道を利用できる人のうち、実際に使っている人の割合)

= 接続人口 ÷ 下水道区域人口

町からのお願い

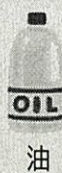


油や野菜くず、残飯は流さないで！

油や野菜くず、残飯などを下水に流すと下水道管が詰まり、汚水が溢れることになります。

天ぷら油などは紙などで吸い取るか、凝固剤で固めて燃えるゴミとして出してください。また、トイレにはトイレットペーパー以外のものは流さないでください。下水道は、公衆衛生や生活環境を守る大切なインフラです。大切に使用してください。

下水に
流せないもの



油



ティッシュペーパー



紙おむつなど



トイレに流せる表示がないトイレクリーナー

雨どいを污水管につながないで！

中井町の下水道は、酒匂川にある酒匂水再生センターで処理されています。そこは汚水のみを処理する分流式のため、雨どいの誤接続などにより雨水が多く侵入すると、処理しきれなくなってしまうます。

また、流域下水道への維持管理負担金は、実際に流れた水量で計算されるため、雨水が多いと余計な経費負担になります。

中井町では昨年度の雨水などの不明水の割合が10%を超え、年々増えています。雨どいや屋外水道などの雨水が流れる管が污水管へ誤ってつながっていないか点検をお願いします。

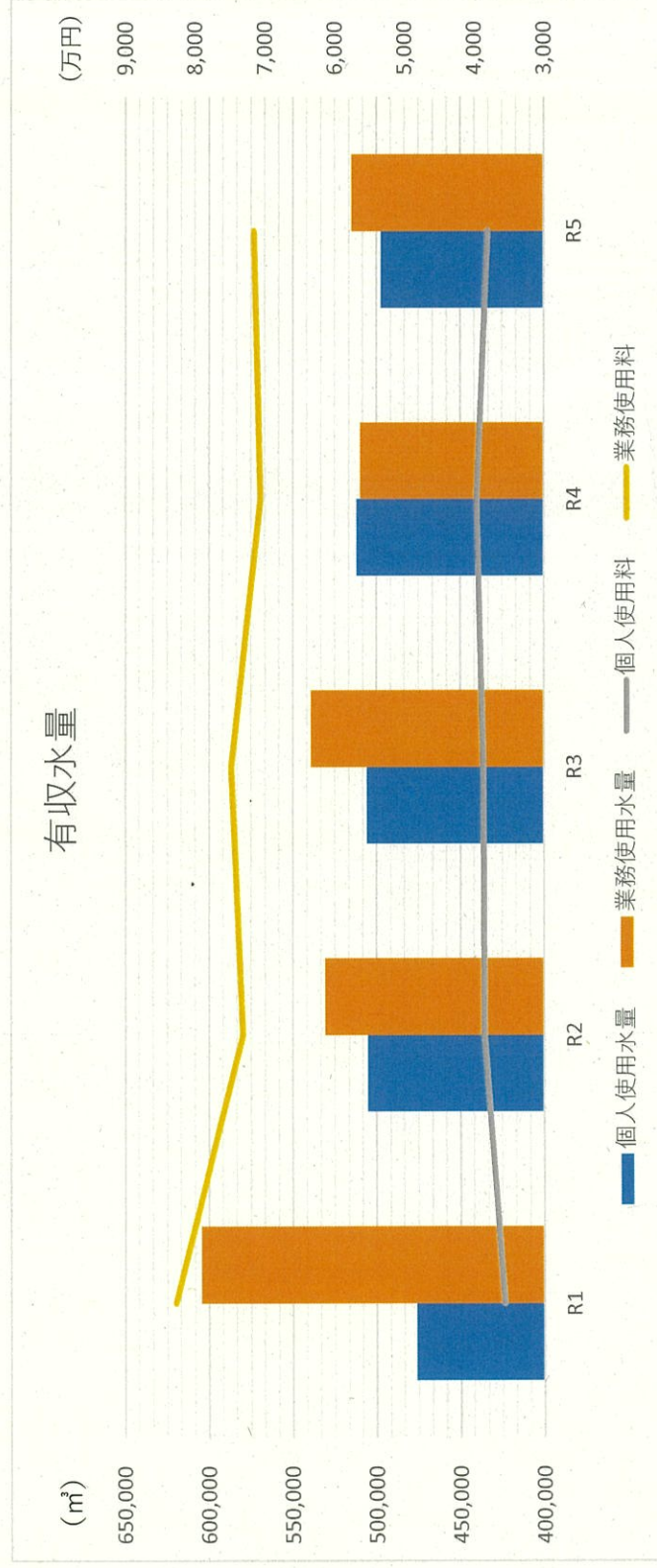


下水道PRキャラクター
スイスイ

有収水量

(使用量単位：m³、使用料単位：万円)

	R1	R2	R3	R4	R5
個人使用水量	476,347	505,247	505,891	512,159	497,525
業務使用水量	604,697	530,924	539,398	509,933	515,106
使用水量合計	1,081,044	1,036,171	1,045,289	1,022,092	1,012,631
個人使用料	3,565	3,853	3,867	3,964	3,802
業務使用料	8,274	7,317	7,482	7,066	7,156
使用料合計	11,839	11,170	11,349	11,030	10,958



料金シミュレーション(R5.10.1以降に確定した水道料金・下水道使用料)

料金(税抜)、基本料金・超過料金を表示できるようにしました(R6.7.12一部改良)

超過料金の内訳を表示できるようにしました(R6.7.30一部改良)

「0」が入力されている色付きセルに試算したい水量(m³)を自然数(正の整数)で入力してください。

※使用量0m³の場合も基本料金はかかります。

下水道使用料(1か月分)

(超過料金内訳)

計算水量	使用料(税抜)	使用料(税込)	うち消費税
10,000 m ³	1,339,300円	1,473,230円	133,930円

うち

基本料金
(10m³まで)

550 円

超過料金
(10m³超分)

1,338,750円

65円 × 10m ³ = 650円	11～20m ³ まで
80円 × 10m ³ = 800円	21～30m ³ まで
90円 × 20m ³ = 1,800円	31～50m ³ まで
100円 × 50m ³ = 5,000円	51～100m ³ まで
120円 × 400m ³ = 48,000円	101～500m ³ まで
125円 × 500m ³ = 62,500円	501～1000m ³ まで
130円 × 4,000m ³ = 520,000円	1001～5000m ³ まで
140円 × 5,000m ³ = 700,000円	5001m ³ ～

下水道使用料(2か月分)

(超過料金内訳)

計算水量	使用料(税抜)	使用料(税込)	うち消費税
10,000 m ³	1,278,600円	1,406,460円	127,860円

うち

基本料金
(20m³まで)

1,100 円

超過料金
(20m³超分)

1,277,500円

65円 × 20m ³ = 1,300円	21～40m ³ まで
80円 × 20m ³ = 1,600円	41～60m ³ まで
90円 × 40m ³ = 3,600円	61～100m ³ まで
100円 × 100m ³ = 10,000円	101～200m ³ まで
120円 × 800m ³ = 96,000円	201～1000m ³ まで
125円 × 1,000m ³ = 125,000円	1001～2000m ³ まで
130円 × 8,000m ³ = 1,040,000円	2001～10000m ³ まで
140円 × 0m ³ = 円	10001m ³ ～

料金シミュレーション(R5.10.1以降に確定した水道料金・下水道使用料)

料金(税抜)、基本料金・超過料金を表示できるようにしました(R6.7.12一部改良)

超過料金の内訳を表示できるようにしました(R6.7.30一部改良)

「0」が入力されている色付きセルに試算したい水量(m³)を自然数(正の整数)で入力してください。

※使用量0m³の場合も基本料金はかかります。

水道料金(家事用1か月分)

(超過料金内訳)

計算水量	料金(税抜)	料金(税込)	うち消費税
10,000 m ³	1,248,000円	1,372,800円	124,800円

75円 × 10m ³ = 750円	11~20m ³ まで
80円 × 10m ³ = 800円	21~30m ³ まで
105円 × 20m ³ = 2,100円	31~50m ³ まで
125円 × 9,950m ³ = 1,243,750円	51m ³ ~

うち

基本料金

(10m³まで)

600 円

超過料金

(10m³超分)

1,247,400円

水道料金(家事用2か月分)

(超過料金内訳)

計算水量	料金(税抜)	料金(税込)	うち消費税
10,000 m ³	1,246,000円	1,370,600円	124,600円

75円 × 20m ³ = 1,500円	21~40m ³ まで
80円 × 20m ³ = 1,600円	41~60m ³ まで
105円 × 40m ³ = 4,200円	61~100m ³ まで
125円 × 9,900m ³ = 1,237,500円	101m ³ ~

うち

基本料金

(20m³まで)

1,200 円

超過料金

(20m³超分)

1,244,800円

水道料金(業務用1か月分)

(超過料金内訳)

計算水量	料金(税抜)	料金(税込)	うち消費税
10,000 m ³	2,128,600円	2,341,460円	212,860円

110円 × 40m ³ = 4,400円	11~50m ³ まで
140円 × 50m ³ = 7,000円	51~100m ³ まで
175円 × 200m ³ = 35,000円	101~300m ³ まで
195円 × 200m ³ = 39,000円	301~500m ³ まで
215円 × 9,500m ³ = 2,042,500円	501m ³ ~

うち

基本料金

(10m³まで)

700 円

超過料金

(10m³超分)

2,127,900円

水道料金(業務用2か月分)

(超過料金内訳)

計算水量	料金(税抜)	料金(税込)	うち消費税
10,000 m ³	2,107,200円	2,317,920円	210,720円

110円 × 80m ³ = 8,800円	21~100m ³ まで
140円 × 100m ³ = 14,000円	101~200m ³ まで
175円 × 400m ³ = 70,000円	201~600m ³ まで
195円 × 400m ³ = 78,000円	601~1000m ³ まで
215円 × 9,000m ³ = 1,935,000円	1001m ³ ~

うち

基本料金

(20m³まで)

1,400 円

超過料金

(20m³超分)

2,105,800円

令和5年度中井町下水道事業会計決算概要

1 はじめに

下水道事業は、一般会計から独立した「公営企業」として運営しています。本来は使用者が納める下水道使用料を財源に独立採算制で運営すべきですが、現状においては一般会計からの補助金のおかげで経営が成り立っている状態と言えます。

公営企業の経理では、「企業会計方式」を採用することが義務付けられており、現金の収支に基づく一般会計と異なり、収益と費用を発生した期間に計上する発生主義に基づき経理を行っています。

決算では、1年間の経営成績を示す「損益計算書」や、年度末の財政状況を示す「貸借対照表」などの会計書類があります。

2 決算とは？

町が下水道施設の維持管理や整備を計画的に行うためには、下水道使用料など（収入）の見積りとお金の使い道（支出）の計画を予算としてまとめます。この予算に対する結果を報告するものが決算です。

3 令和5年度決算について

令和5年度の決算については、下水道施設の維持管理に関するお金（収益的支出）として、下水道使用料や一般会計補助金など4億9,991万円（①）の収益があり、維持管理費等など4億5,556万円（②）の費用がかかりました。

また、下水道施設の整備に関するお金（資本的収支）として、企業債の借入金5,460万円（③）の収入があり、建設改良費や企業債の返済など2億3,755万円（④）の支出がありました。なお、資本的収入が資本的支出に不足する額は、収益的収入と収益的支出から生じる留保資金などで補填する仕組みとなっています。

予算の執行状況

（単位：万円 税込）

区分	予算額	決算額	執行率
収益的収入	50,423	① 49,991	99.1%
収益的支出	49,051	② 45,556	92.9%
資本的収入	6,250	③ 5,460	87.4%
資本的支出	24,888	④ 23,755	95.4%

4 どんな収入があったのか？

下水道事業の収入は、本来は「下水道使用料」が大半を占めることが望ましいが、中井町では「他会計補助金」の割合が最も大きく、ほかに借入金（企業債）などがありました。

収入には、下水道施設の維持管理に使う「収益的収入」と下水道施設の整備などに使う「資本的収入」があります。

(単位：万円 税込)

	内容	金額	割合
収益的収入	下水道使用料	10,958	19.7%
	国・県補助金	0	0%
	他会計補助金	24,000	43.3%
	長期前受金戻入	15,013	27.1%
	その他収益的収入	20	0.1%
	計	49,991	90.2%
資本的収入	企業債による借入	5,460	9.8%
	負担金・分担金	0	0%
	その他資本的収入	0	0%
	計	5,460	9.8%
合 計		55,451	100.0%

5 どんなことに使ったのか？

維持管理費や建設改良費のほか、整備時に借り入れた企業債の返済やその利息の支払いに使いました。現金支出を伴わない「減価償却費」が最も大きな割合を占めています。

支出には、下水道施設の維持管理に係る「収益的支出」と、下水道施設の整備や借入金の返済に係る「資本的支出」があります。

(単位：万円 税込)

	内容	金額	割合
収益的支出	維持管理費(管渠費 160、総係費 3,309、流域下水道維持管理負担金 7,259)	10,728	15.5%
	減価償却費等	31,283	45.1%
	支払利息等	3,212	4.6%
	その他収益的支出	333	0.5%
	計	45,556	65.7%
資本的支出	建設改良費等	1,075	1.6%
	企業債償還金	22,680	32.7%
	計	23,755	34.3%
合 計		69,311	100.0%

6 経営状況について

【損益計算書】

損益計算書は、1年間における経営成績を「収益」と「費用」で表す。収益から費用を差し引いたものを「当期純利益」といいます。

(単位：万円 税抜)

	内容	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
収 益	下水道使用料	9,963	10,027	△64	△0.6%
	国・県補助金	0	759	△759	皆減
	他会計補助金	24,000	27,000	△3,000	△11.1%
	長期前受金戻入	15,013	15,581	△568	△3.6%
	その他	19	1,959	△1,940	△99.0%
	計	① 48,995	55,326	△6,331	△11.4%
費 用	維持管理費	9,923	10,917	△994	△9.1%
	減価償却費等	31,283	31,849	△566	△1.8%
	支払利息等	3,212	3,801	△589	△15.5%
	その他	240	711	△471	△66.2%
	計	② 44,658	47,278	△2,620	△5.5%
	差引（当期純利益）	③ 4,337	8,048	△3,711	△46.1%

令和5年度の収益合計は、他会計補助金やその他（流域下水道建設費負担金精算金）の減少などにより、4億8,995万円（①）となりました。費用合計は、燃料価格の高騰を受けた電気料金の上昇が落ち着き、流域下水道維持管理負担金が減少したことなどから、4億4,658万円（②）となりました。結果、当期純利益は4,337万円（③）となりました。

【貸借対照表】

貸借対照表は、年度末（3月31日時点）の財政状況を「資産」「負債」「資本」で表します。「資産＝負債＋資本」という関係性があります。

(単位：万円 税抜)

	内容	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
資 産	固定資産	690,623	720,567	△29,944	△4.2%
	現金預金	24,644	21,535	3,109	14.4%
	未収金	2,000	1,660	340	20.5%
	計	① 717,267	743,762	△26,495	△3.6%
負 債	企業債	188,979	206,199	△17,220	△8.4%
	未払金	2,784	1,749	1,035	59.2%
	引当金	148	143	5	3.5%
	預り金等	1	0	1	皆増
	繰延収益	391,838	406,491	△14,653	△3.6%
	計	② 583,750	614,582	△30,832	△5.0%
資 本	資本金	108,233	107,233	1,000	0.9%
	剰余金	25,284	21,947	3,337	15.2%
	計	133,517	129,180	4,337	3.4%
	負債・資本合計	717,267	743,762	△26,495	△3.6%

令和5年度の資産総額は、固定資産の減価償却が進んだことなどにより、71億7,267万円(①)となりました。

負債総額は、企業債の残高が減少したことなどにより、58億3,750万円(②)となりました。

【経営指標】

経営指標とは、企業の健全性や収益性を数値で示すものです。

令和5年度は、一般会計補助金の減額に伴い「経常収支比率」は減少しましたが100%は超えています。また、電気料金高騰の影響が収束し「経費回収率」は上昇しましたが、100%には程遠く、適正な下水道使用料の設定とは言い難いです。汚水処理原価は酒匂川流域下水道事業に参加することで低く抑えられていますが、年間有収水量を増やすためには下水道接続率の向上が課題です。

項目	令和5年度	令和4年度	R4 同規模 自治体平均	望ましい 方向	説明
経常収支比率 (%)	109.71	117.03	106.08	↑	経常収益÷経常費用×100 ⇒収益で費用をどの程度賄えているか
経費回収率(%)	65.59	55.62	83.55	↑	下水道使用料÷汚水処理費×100⇒汚水処理に要する費用を下水道使用料でどの程度賄えているか
流動比率(%)	114.34	94.40	50.59	↑	流動資産÷流動負債×100 ⇒1年以内に現金化できる資産と負債の比率(短期的な支払能力)
自己資本構成比率(%)	73.24	72.02	—	↑	(資本金+剰余金+繰延収益)÷負債資本合計×100⇒総資本に対する自己資本の割合
有形固定資産減価償却率(%)	12.44	9.40	16.11	↓	有形固定資産償却累計額÷有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価×100⇒償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標、資産の老朽化度合を示す。
下水道使用料収納率(%)	99.78	99.78	—	↑	調定額に対する収入済額の割合(翌年度5月末時点の数字)
汚水処理原価 (円)	150.00	176.40	185.98	↓	汚水処理費÷年間有収水量

7 その他

【利益剰余金の使いみち】

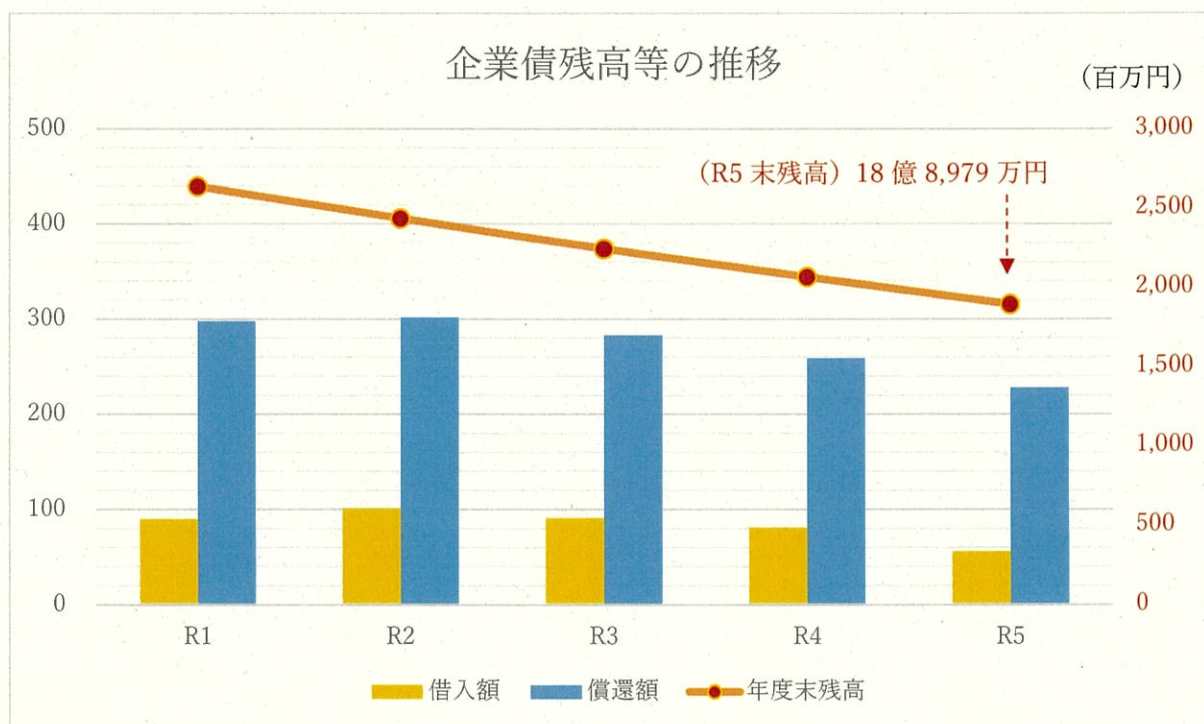
事業経営から生じた利益（剰余金）は、企業債の返済に充てるための「減債積立金」と、建設改良工事に備えるための「建設改良積立金」として活用しています。

（単位：万円）

	減債積立金	建設改良積立金	合計
令和4年度末	7,000	5,000	12,000
積立額	4,000	4,000	8,000
取崩額	△2,000	0	△2,000
令和5年度末	9,000	9,000	18,000

【企業債について】

下水道施設の整備には、多額の費用が発生することから、一度に全額を支払うと、その他の業務に必要なお金が不足してしまいます。また、下水道施設は長期間多くの町民が使用する施設であり、将来の利用者にも公平に整備費用を負担してもらうため、整備時に企業債を借り入れて、一定期間をかけて返済していきます。



【資本的収入の不足を補填する仕組み】

公営企業会計では、下水道施設の維持管理などに使うお金を「収益的収支」、下水道施設の整備などに使うお金を「資本的収支」と区別します。資本的収入の不足分については、収益的収支の剰余金や減価償却費などから生まれる留保資金によって補填します。

資金の補填イメージ



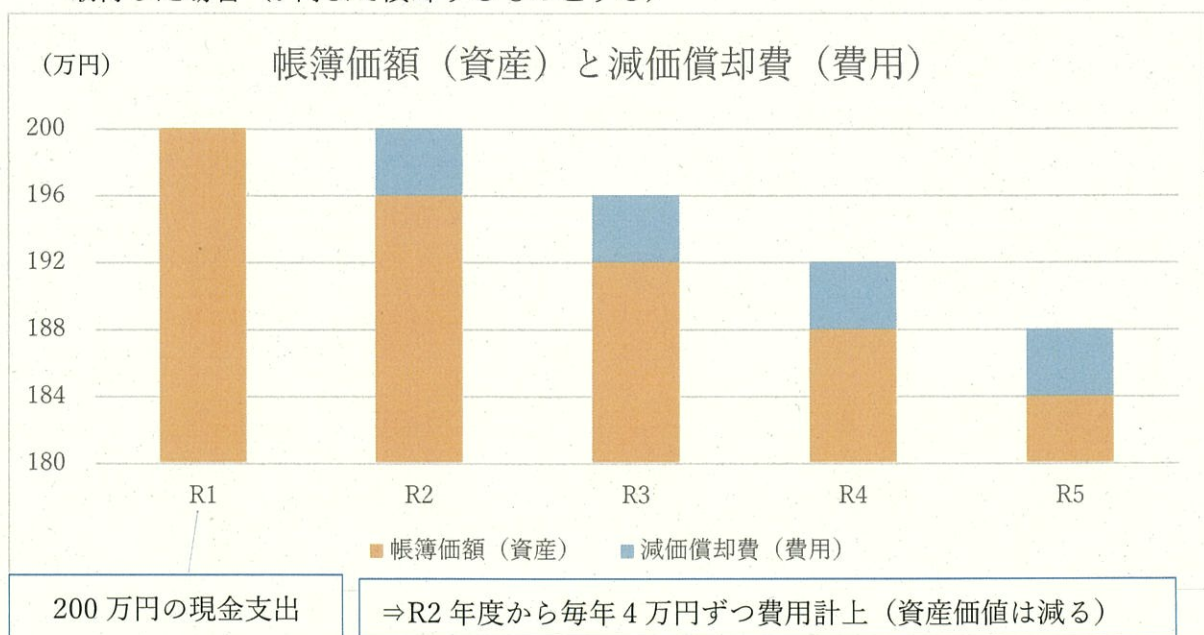
【長期前受金戻入と減価償却費について】

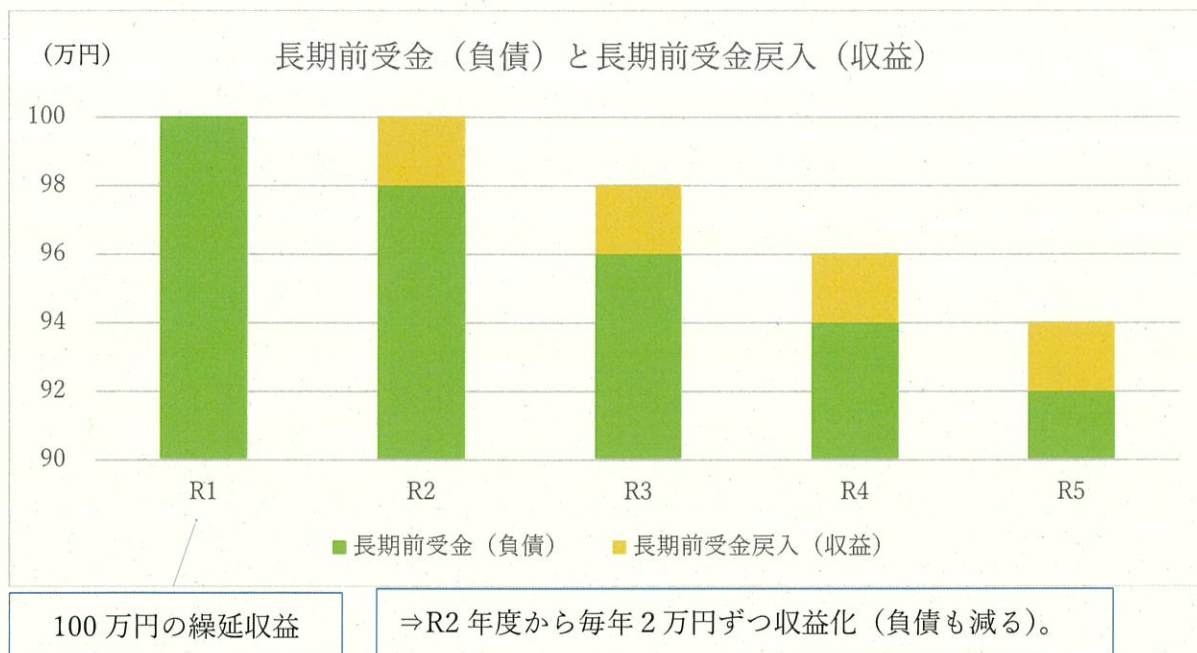
下水道施設の整備に関する収支を現金の収入・支出に合わせて計上すると、整備の多い年と少ない年で収支（経営成績）にばらつきが生じるため、会計期間の比較ができず、企業の経営状況を比較できません。

このため、整備時の現金収入（補助金等）や現金支出（工事費等）を、下水道施設の耐用年数（管渠なら 50 年）に応じて「長期前受金戻入」や「減価償却費」として期間配分（平準化）して、収支に計上します。

「長期前受金戻入」や「減価償却費」は、すでに整備時に現金の収入・支出が行われているため、「現金の収入を伴わない収入・費用」とも呼ばれています。

（例）令和 1 年度に 200 万円の資産（耐用年数 50 年、うち 100 万円は国庫補助金が財源）を取得した場合（0 円まで償却するものとする）





【令和 5 年度に実施した主な事業】

○汚水流量計更新工事 4,400 万円

酒匂川流域下水道維持管理要綱に基づき、中井町公共下水道汚水量測定を目的として中井町遠藤地内に設置している汚水流量計について、設置から 25 年が経過し近年の点検において出力低下が確認されていることから更新を行いました。

○公共下水道事業計画変更等業務委託 1,133 万円

令和 3 年下水道法改正、期間延伸、市街化区域編入に伴う事業計画の見直し

- ・ 酒匂川流域下水道事業計画（R 5 年度）への整合
- ・ 期間延伸、7 年延伸し、R 12 年度まで
- ・ 諏訪地区市街化区域編入（R 5 年度）による変更
- ・ 計画フレーム（計画区域、人口、計画汚水量等）及び原単位の変更
- ・ 財政計画書の変更
- ・ 都市計画事業認可申請図書作成